

県広報とやま

富山県の人口・世帯数

人口

97万7,238人
(対前月比502人減)
男性:47万6,645人
女性:50万593人

世帯数

41万3,196世帯
(対前月比292世帯増)
[令和8年8月1日現在]

2026

10

OCTOBER
NO.522

令和8年10月4日発行

秋麗号

特集

1 暮らしを支えるインフラを未来へー持続可能なインフラマネジメントとはー

特集

2 黒部宇奈月キャニオンルートツアー10月始動

県富山土木センター橋りょう保全班のみなさん



なかだ
係長 中田さん

あさの
技師 浅野さん

橋は、地域のかけ橋、社会のかけ橋、未来へのかけ橋です。

INTERVIEW

私たちは、橋の点検や補修工事を計画・発注し、専門事業者と連携しながら、橋を安全に通行できるよう管理しています。富山県が管理する長さ2メートル以上の橋は3,474橋(令和7年3月時点)あり、5年に一度、定期点検を行っています。

定期点検では、コンクリートのひび割れや鋼材の腐食、鉄筋の露出などを目視で確認するほか、ハンマーでたたいた音から異常がないかを調べます。その結果をもとに、橋の状態を「I 健全」「II 予防保全段階」「III 早期措置段階」「IV 緊急措置段階」の4段階で評価します。「IV 緊急措置段階」と判断された場合は、通行止めなどの緊急対応が必要になります。

そのような状態に至らないよう、損傷の程度や進み具合を踏まえて、

補修工事の必要性や優先順位、方法を検討しています。損傷を早期に見し、ひび割れの補修や傷んだ部材の取替えなどを行うことで、損傷の進行を抑え、橋を安全に利用できる状態に保つことが私たちの役割です。補修工事では、片側交互通行などの交通規制を行うことがあります。通勤や通学、通院などでご不便をおかけしますが、橋を安全に使い続けるため、ご理解とご協力をお願いします。

県内では橋の老朽化が進む一方、維持管理を担う建設業従事者や土木部技術職員は減少傾向にあります。限られた人員や予算の中で、橋の状態を的確に把握し、優先順位を付けて計画的に補修するとともに、より効率的・効果的な維持管理・更新の方向性を検討していきます。



県政クイズ

〇の中に言葉を入れてください。

「〇〇〇」は、点検結果に基づく橋の状態を表します。

正解者の中から抽選で
15名の方に
富富富 2kgを
プレゼント!



※住所の誤り、長期不在、その他の理由により賞品をお届けできない場合、当選を無効とすることがあります。賞品の再発送は行いません。

富山県公式LINEから応募できます! /

応募方法 右の二次元コードから友達追加して、「共通メニュー」から回答。

締切 10月30日(金)

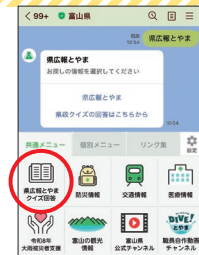
当選発表 プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

◎前回(7月号)の答え……「富山モデル」
応募総数1,263件(正解者数794件)

応募は
こちらから



県公式LINE



県公式LINEでは、住まいや年代、興味関心に応じた情報を配信しています!

富山の最新情報・
魅力をお届け!

県公式SNSをチェック!



Instagram
@pref_toyama



インスタマガジン「TOYAMAGAZINE」
もチェック! スマホで気軽に県政情報を
ご覧いただけます。



X
@pref_toyama



県政情報や災害
時の情報発信な
どを行っています。



YouTube
《DIVE!とやま》



県職員が県内各地
にダイブし、富山の
情報を発信!

暮らしを支えるインフラを未来へ —持続可能なインフラマネジメントとは—

毎日の通勤や通学、買い物、通院。私たちの暮らしは、道路や橋などのインフラに支えられています。しかし、県内では維持管理が必要な施設が年々増える一方、建設業の担い手や県土木部の技術職員は減少しています。限られた人員と予算の中で、インフラを安全に維持していくため、県では将来を見据えた維持管理や更新の方向性を検討しています。

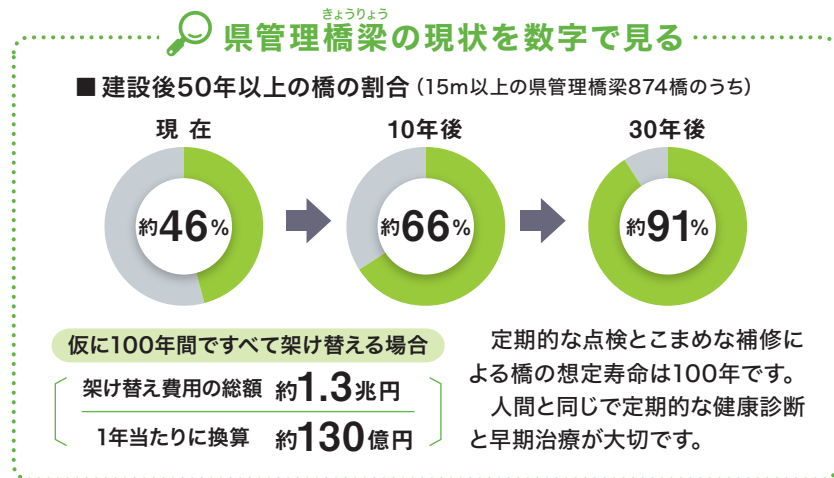
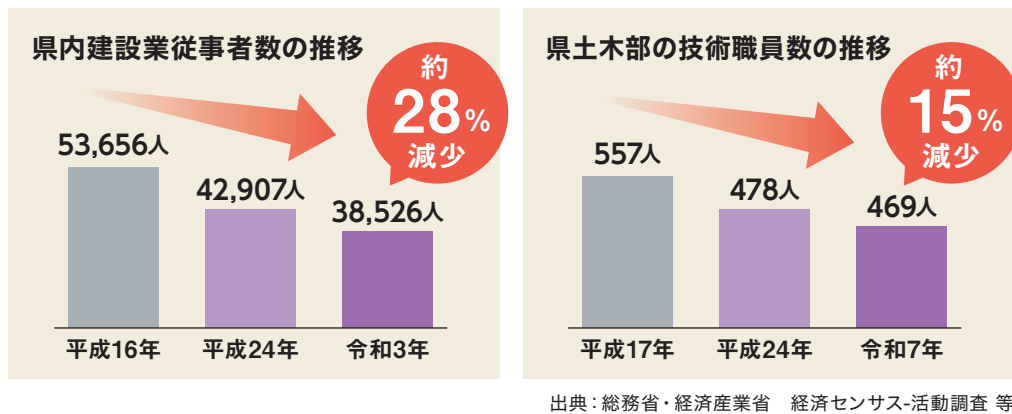


古くなる道路や橋、減っていく担い手

富山県が管理する道路や橋、トンネルなどの公共土木施設は、高度経済成長期以降に建設されたものが多く、今後、老朽化した施設が急速に増えていきます。維持管理・修繕には現在も、多くの予算を必要としています。今後、大規模な補修や更新の時期が集中することにより、必要な費用の増加が見込まれています。

一方、維持管理を担う建設業従事者や県土木部の技術職員は減少しています。限られた人員と予算の中で、インフラをこれからも安全に使い続けるため、効率的、効果的な維持管理の方法へと見直ししていく必要があります。

県では現在、私たちの暮らしに身近な橋について、県庁外の委員で構成するワーキンググループを設置し、維持管理や更新の方向性について検討を進めています。ここからは、橋を中心に県内の現状と検討内容を見ていきます。



今あるものを上手に使う

すべてのインフラをこれまでと同じ方法で維持管理していくことが難しくなる中、これからは、「新しくつくる」よりも、今あるものを上手に使っていくことが重要になります。そのため、現在の利用状況や周辺環境をふまえ、インフラの維持管理や更新の優先順位を考えていく必要があります。このように、インフラを計画的に維持管理していくことを「**インフラマネジメント**」といいます。

県がその判断の視点として現在検討しているのが、「**健全性**」と「**重要性**」です。「健全性」は点検結果に基づく橋の状態、「重要性」は通学・通院、災害時の輸送、孤立リスク、交通量など、暮らしや社会経済への影響を表します。

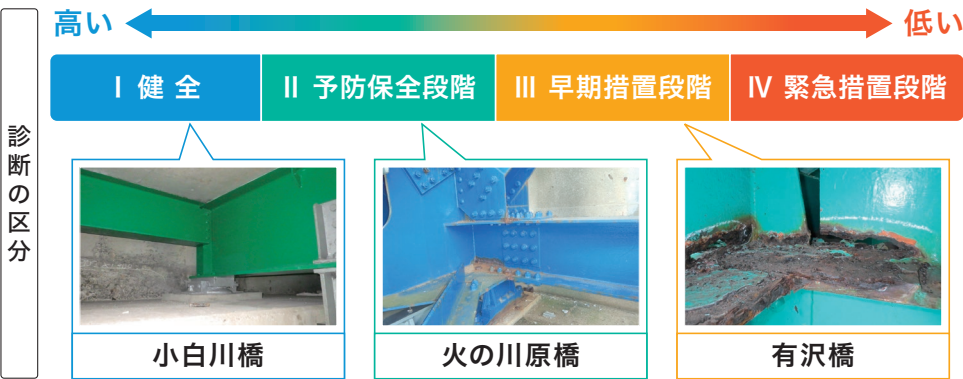
ワーキンググループでは、この2つの視点から、橋の維持管理や更新の方向性について、未来志向で議論を進めています。

ワーキンググループでの検討状況はこちら



健全性 = 点検結果に基づく橋の状態

重要性 = 暮らしや社会経済への影響



「IV 緊急措置段階」に至ることがないよう、点検と補修を進めています。



「自分ごと」として考える

いつも通る橋がある日突然通れなくなったら、通学や通院、買い物など、日々の暮らしにはどのような影響があるでしょうか。災害時には、支援物資を運ぶ道が使えるかどうか、地域の安全を左右することもあります。



橋や道路は、暮らしや地域の活動を支える大切な基盤です。将来にわたって安全に使い続けていくためには、定期的な点検や補修を行いながら、それぞれの役割や利用状況に応じて維持管理していくことが重要です。



▲橋の状況について確認する様子

「自分ごと」として考える 橋のしくみをクイズで学ぼう

「インフラ自分ごと化」体験教室で、橋の役割やしくみについて楽しく学び、クイズに挑戦します。事前申込は不要です。

日時 10月24日(土)
10:00~10:40

場所 環水公園 天門橋
※その他の体験プログラムは、申し込みを終了しています。



これからのインフラを、どう守り、どう使い続けていくのか。他人ごとではなく「自分ごと」として、まずは身近な道路や橋に目を向けることから、一緒に始めてみませんか？

この件のお問い合わせは、県建設技術企画課 TEL.076-444-3313

黒部宇奈月キャニオンルートツアー10月始動

黒部ダムと黒部峡谷・樺平を結ぶ「黒部宇奈月キャニオンルート」。この一帯では、かつて、発電所建設などのため、厳しい自然と向き合いながら電源開発が進められました。当時の工事を支えたルートや設備を辿りながら、富山に残る貴重な歩みを見つめてみませんか。

電源開発の歴史

1917(大正6)年、アルミニウム製造の電力を求めて、黒部川で初めて電源開発に向けた調査が始まりました。現場は、深い谷と険しい山々に囲まれた大自然。資材を運ぶことも、人が入ることも容易ではありませんでした。

険しい断崖絶壁での作業をはじめ、160℃を超える高温の岩盤を掘り進めた「高熱隧道(こうねつずいどう)」、大量の土砂と冷たい地下水が激しく噴き出す「破砕帯(はさいたい)」など、いくつもの多難な工事を乗り越え、黒部川第三・第四発電所などが築かれました。

工事専用ルートから、電源開発の軌跡を辿るルートへ

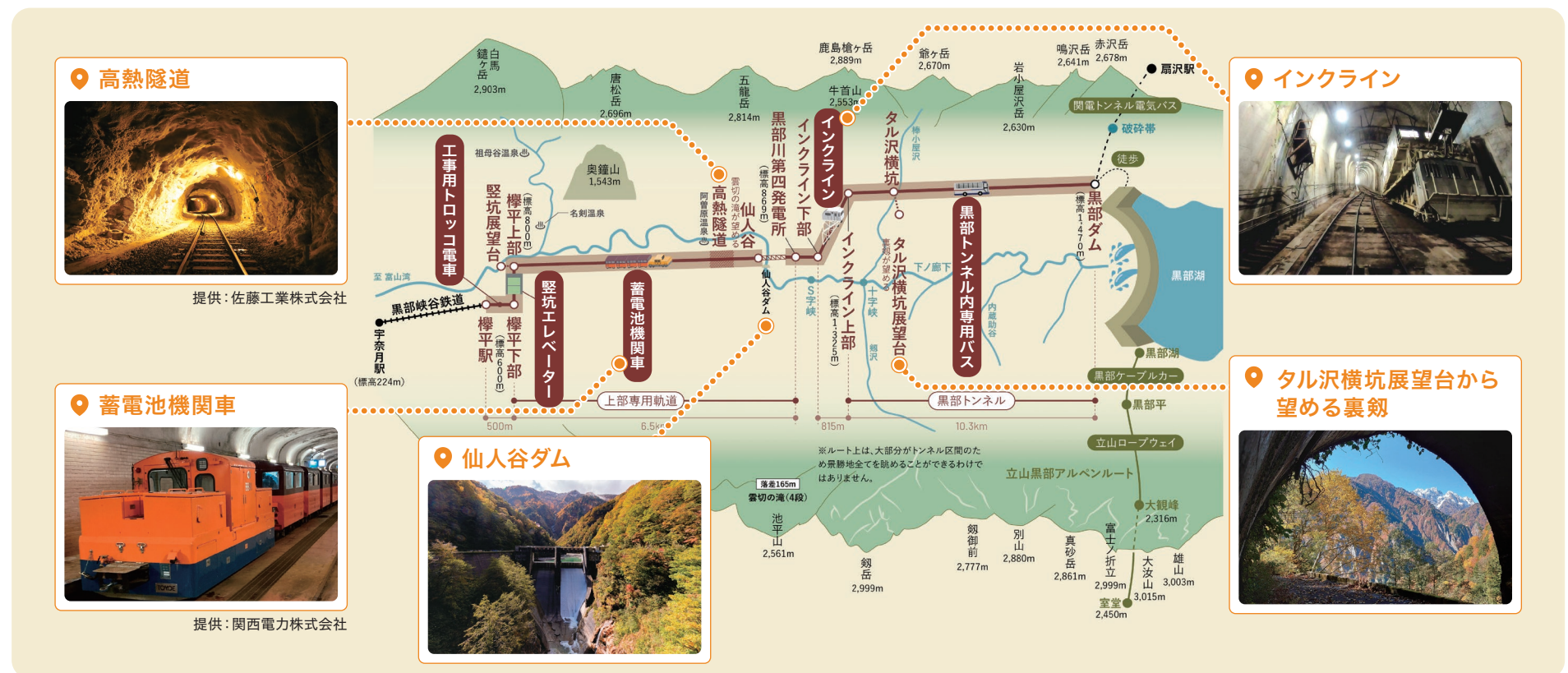
このルートは、黒部川第三・第四発電所などの建設工事用ルートであり、長い間、一般の観光客は立入ることができませんでしたが、2018年、関西電力と富山県の協定により一般開放・旅行商品化されることとなりました。これにより、日本一のV字峡谷である「黒部峡谷」と世界的な山岳景観を誇る「立山黒部アルペンルート」を結ぶ新たな観光ルートが生まれました。

ツアーでは、蓄電池機関車やインクラインなどの発電所建設時に使われていた乗り物や設備を継ぎながら、日本経済を支えた電源施設群と黒部の大自然の両方を体感することができます。

黒部宇奈月
キャニオンルート
公式HPはこちら



最新情報をチェック!



TOPICS

富山県総合計画

2025年12月策定

幸せ人口1000万〜ウェルビーイング先進地域、富山〜を目指して

高校生と描く「未来共創プロジェクト」開催!



次代を担う高校生と、総合計画で県が目指す将来像を共有するため、県内高校でワークショップを開催しています。生徒自身が地域の諸課題を「自分ごと」として捉え、「富山の未来のために自分ができること」を考えます。

6月に開催した高岡向陵高校では、生徒たちが10年後の富山に住む「未来人」になりきり、将来の地域の姿を想像しながら、「多文化共生」をテーマに話し合いました。生徒からは、「外国人と交流するために英語を勉強したい」「AIを上手に活用していきたい」など様々な意見が出されました。

今後は、ワークショップの成果を実施マニュアルとしてまとめ、他の高校の授業等でも活用できるよう展開し、高校生の皆さんと共に、富山の未来のために取り組んでいきます。

この件のお問い合わせは、県ウェルビーイング・総合計画推進課 TEL.076-444-8489

「県広報とやま」は、7・10・1・4月(年4回)発行で新聞折込により各家庭にお届けするほか、県の各施設や医療機関、市役所・町村役場、図書館のほかスーパー(一部)などでも配布しています。本号とバックナンバーは広報課のホームページで閲覧できます。また、点字版・音声版もございます。ご希望の方は、

県広報とやま

検索



ハチロウのきときと通信

富山県知事 新田 八朗

8月末の記録的大雨により、県内では氷見市を中心に、河川の氾濫などによる住宅の浸水や土砂崩れなど、大きな被害が発生しました。被災された皆さまに、改めて心よりお見舞い申し上げます。

県では災害対策本部を設置し、高岡市、氷見市、小矢部市、射水市へ県職員を派遣するとともに、道路や河川、農地などの被害状況の確認や応急対策、避難された方への健康支援などを行いました。私も氷見市内の避難所や浸水被害に遭った高齢者施設、高岡市内の被災箇所を訪れ、被災された方々のお声を直接伺いました。一日も早く安心した暮らしを取り戻していただきたい。その思いで、現在も市町村や関係団体など力を合わせ、生活再建と地域の復旧・復興に向けた支援に取り組んでいます。

命と暮らしを守るため、私たち行政はこれからも力を尽くしてまいります。そして、災害への備えには、日頃からの「自助」と「共助」も大切です。いざというときに備え、避難場所や避難経路、非常食や飲料水の備蓄など、ご家庭や地域で改めて確認してみてください。





おでかけ情報

高校生以下、各種障がい者手帳等をお持ちの方無料

高志の国文学館

富山市舟橋南町2-22 TEL.076-431-5492

▶漫画家・今市子の世界 展

期間／開催中～11月23日(月・祝)
時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
休館日／毎週火曜日(11月3日は開館)、11月4日(水)
料金／一般：600円(480円)、大学生：300円(240円)
※会期中、企画展観覧料で常設展もご覧いただけます。

富山県氷見市出身の漫画家・今市子。1993年に「マイビューティフルグリーンパレス」で漫画家デビューを果たし、代表作の「百鬼夜行抄」は、2006年に第10回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞しました。本展では、貴重な原画の展示を通じて、繊細な線描と美しい色彩で多くの読者を惹きつける、漫画家・今市子の創作の世界をご紹介します。



高校生以下、各種障がい者手帳等をお持ちの方無料

富山県水墨美術館

富山市五福777 TEL.076-431-3719

▶豊原国周生誕190年 歌舞伎を描く 静嘉堂秘蔵の浮世絵初公開！

期間／開催中～11月8日(日) ※10月14日(水)からは後期展示
時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
休館日／毎週月曜日(10月12日、11月2日は開館)、10月13日(火)、11月4日(水)
料金／一般：1,500円(1,200円)／大学生：1,200円(1,000円)
※リピーター割あり。詳しくはHPをご覧ください。

せい かい どう
静嘉堂文庫(東京都世田谷区)が秘蔵してきた、歌舞伎の人気役者や名場面を描いた「役者絵」をご紹介します。生誕190年を迎えた「明治の写楽」こと豊原国周と、その師の三代歌川豊国(国貞)をはじめとする絵師たちの美しい錦絵は、摺りあがったばかりのように鮮やかな色合いが魅力です。時代を超えて人々を魅了する日本の美をぜひご覧ください。



※料金の()内は20名以上の団体料金です。
※開催状況など最新の情報は、ホームページをご確認ください。

県民公園太閤山ランド

射水市黒河4774-6 TEL.0766-56-6116

▶ハロウィンフェスタin太閤山ランド

期間／10月24日(土)、25日(日)
時間／10:00～16:00
場所／野外劇場周辺
料金／無料(一部イベントは有料)

「行楽の秋」・「スポーツの秋」・「食の秋」といろいろな秋が一度に楽しめるイベント。キャラクターショーや、かぼちゃのランタン作りなど、家族で楽しめる内容が盛りだくさん！

期間中は赤とんぼ展(9月2日～10月31日)も開催中。太閤山ランドで観察できた赤とんぼの写真や標本をご覧ください。



県庁おしごと人図鑑



所属

観光推進局観光戦略課
久保田 さん

好きな言葉

好きなアーティストの楽曲名にもなっている「我達人(がほうじん)」という言葉大切にしています。

普段のお仕事を教えてください

黒部宇奈月キャニオンルートの広報担当として、Instagram公式アカウントでの発信、PRイベントの開催などを行っています。キャニオンルートをご存知の方はもちろん、まだご存知ない方にも「どんなルートなのか」「どんな魅力があるのか」を知っていただき、行ってみたいと思ってもらえるよう、写真や文章での伝え方を工夫しています。

県民のみなさんにひと言！

10月2日(金)から黒部宇奈月キャニオンルートツアーが始まりました。Instagram公式アカウントで最新情報や魅力を発信していますので、是非フォローをお願いします！



PICK UP

インフォメーション



チームTOYAMA応援デジタルスタンプラリー2026



この件のお問い合わせは 県スポーツ振興課 TEL.076-444-3403

県内7つのスポーツチームのホームゲームを観戦＆各チームおすすめの飲食店を巡って、富山のスポーツを応援しよう！
試合会場や飲食店でポイントを集めて応募すると、抽選で130名超に選手のサイン入りグッズなどの豪華賞品が当たります。

実施期間
8月15日(土)～12月31日(木)
参加方法
アプリ「TOYAMA ONE Wallet」でポイントを集め、抽選に応募

詳細は特設サイトを
ご覧ください▶



「電車・バスで行こう！」キャンペーン実施中



この件のお問い合わせは 県交通戦略企画課 TEL.076-444-3124

キャンペーン期間中、対象路線で使えるデジタルきっぷ2枚組を300円で販売。このきっぷ1枚で、対象路線の電車・バスを平日の90分間、自由に乗り降り・乗り継ぎできます。
通勤・通学やお買い物など、いつもの移動の選択肢に電車やバスを加えてみませんか。

販売期間
10月5日(月)～10月23日(金)
販売価格
300円(乗車券2枚)

購入方法
アプリ「my route」からデジタル乗車券を購入

詳細は特設サイトを
ご覧ください▶



◆県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

企画・発行／富山県知事政策局広報課(富山市新総曲輪1-7)
〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課あて
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478

広報課HP内の
お問い合わせフォーム
よりお送りください▶



令和8年10月4日発行 編集協力：相互企画印刷(株)

※「県広報とやま」は環境に配慮し、植物性大豆油インキと再生紙を使用しています。

※下記の広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

なお、広告の掲載については、(株)ウィット(TEL.072-668-3275)までお問い合わせください。

次号のお知らせ 1月号は1月10日(日)に発行予定です。